

自然にやさしい、やすらぎの空間



塗りのジュラックス
JULUX

新発売

モルタル接着増強剤・吸水調整材

SKタック

3倍液

塗布・混和兼用

JIS A6203規格適合品

F☆☆☆☆



■特長

- 耐水性、耐アルカリ性に優れ、セメントとの混和性が良好です。
- 下地（コンクリート）との接着性に優れています。
- 混入モルタルは可とう性に優れ、下地の変形に順応し、モルタルの諸性能を改質します。
- 混入、塗布の併用により長期にわたり優れた諸性能を維持します。

■物性

試験項目	ニューSKタック	測定条件
1 成分	エチレン酢酸ビニル系エマルジョン	
2 外観	乳白色	
3 不揮発分 (%)	43~47	JIS K 6828に準拠(105℃×1Hr)
4 P H	4~6	JIS K 6828に準拠
5 粘度(10 ³ mPa·s)	1.3~2.1	JIS K 6828に準拠(BH型No.2 23℃ 10rpm)
6 密度 (g/cm ³)	1.07	
7 最低造膜温度(℃)	0	
8 凍結融解安定性	合格 (5)	JIS K 6828に準拠(-10℃ 5サイクル)
9 湿潤粘着性	高	
10 機械安定性	優	
11 有害性	なし (悪臭なし)	
12 使用方法	セメントノロ又はモルタル混入型でも塗布型でもよい	

■ニューSKタック価格表

	型式コード	価格
18kg缶	SKTC-18	11,000円/缶
4kg缶	SKTC-4	3,600円/本

接着増強剤について

モルタル塗りになくてはならない接着剤

モルタルを下地〔コンクリートなど〕にくっつけるのはセメントの物をくっつける力によるのですが、モルタルの性能を改良し、より接着力を強化するために接着剤を加える方法がとられています。

●なぜニューSKタック（接着増強剤）が必要なのでしょう？

現在の建築業界では建築量の増大、高層化、工期の短縮などのため、コンクリート打ちにも木材に変わって鋼板やフィルム合板の型枠が使われます。当然コンクリート表面が平滑に仕上がるためモルタルの剥離が起こり易くなりますので、これを防ぐためにニューSKタックを利用します。

●接着増強剤の性能〔特性〕

下地〔コンクリートなど〕との接着増強、モルタルの作業性改善、さらにモルタル硬化に必要な保水性向上などを満たす物として開発されたものがニューSKタックです。



▲18kg缶

▲4kg缶

混入使用 の場合

用途	調合（混練り）	塗り付け工法	標準施工面積(1缶あたり)
モルタル ニューSKタック 混入モルタル 下塗り	セメント 25kg 砂 約75kg 空練り + ニューSKタック + 水 3倍液:2.5~4kg 適量:9~10ℓ	鍍塗り 養生7日以上	塗り厚5~6mm 18kg缶 40~60㎡ 4kg缶 9~13㎡
樹脂ノロ モルタル	セメント 25kg + ニューSKタック + 水 3倍液:4kg 適量:8ℓ	鍍塗り 追かけモルタル 塗りをする ③刷毛塗りの場合はニューSKタックを5割増しとする	塗り厚1mm以下 18kg缶 100~120㎡ 4kg缶 22~26㎡
モルタル ニューSKタック混入 薄塗りモルタル (セメントフィラー)	セメント 25kg メトロン 1袋 45g 砂 7号珪砂 約20kg + ニューSKタック + 水 3倍液:4kg 適量:8ℓ	鍍塗り 養生3日以上	塗り厚約1mm 18kg缶 120~140㎡ 4kg缶 26~31㎡



混入使用の場合

モルタルにニューSKタックを混入し、
下地(コンクリートなど)に塗りつける方法

特長

- セメントモルタルとの混和性に富み作業性が良い。
- 混水量の減量とポリマーの働きで強度・防水性・付着力・耐摩耗性・耐衝撃性・耐薬品性・防塵性に優れた硬化体を形成します。
- 下地との接着性が良く、付着強度が大きくなり、モルタルの浮きやはだ別れを防止します。
- 下地の変形に順応する弾性があるので、衝撃に対し連鎖的に剥離がありません。
- 防塵性に優れ、表面の風化を抑えます。
- 乾燥すれば、水中強度も空中と変わりません。
- モルタルの白華現象を少なくします。
- セメントの分散性が向上し強度が大きくなります。

用途

- クラック防止、接着力強化に使用。(モルタル混入工法用、樹脂ノロ工法用、薄塗りモルタル混入工法用などに)

施工方法

1. 下地の処理

- 脆弱部塵埃レイタンスを取除き、水洗清掃してください。
- 油類の汚れはシンナーか合成洗剤で清掃してください。
- ひび割れはVカットし、ニューSKタック混入モルタルで補修してください。

2. ニューSKタックを混入

- 普通モルタルに比べ混入量が減量されるので、まずセメントと砂を空練りしてから、所要量のニューSKタック希釈液を徐々に混入し、次に水を加えて適当なやわらかさに練り上げてください。

※練り時間は5分が標準ですが、機械練りの場合長すぎると、必要以上の空気連行が強度低下を招きますので、早めに練り上げてください。

3. 混入モルタルの塗り付け

- 薄塗りでもドライアウトを起こさず強固に密着しますが、塗り厚はJASS15を標準とするのが最適です。
- 厚塗りするときは、2~3回に分けて塗り重ねてください。
- コテは十分押さえて塗りつけてください。
- 広い面積は定木ずりをしてからコテ仕上げに移ると早く平滑な塗装面が得られます。
- ニューSKタック希釈液(水:ニューSKタック=4:1)をプライマーとして下地面に塗布すると接着力が倍加します。

4. 養生

- 養生は普通モルタルの場合に準じて行ってください。
 - 完全硬化までは他の工事による衝撃を与えないようにしてください。
 - 乾燥しきらないうちに雨に当てないでください。
 - 養生期間は少なくとも1週間以上とします。
 - 冬期の施工においては、凍害を受けないよう十分に注意してください。
- 湿潤養生を行うときは、あらかじめ1~2日の気乾養生を施してください。

5. 留意点

- ニューSKタック混入モルタルは、なるべく早くお使いください。
- 夏期炎天下や通風の悪い所に混入モルタルを放置するときは、適当な被覆をしてください。
- 混入モルタルの単位容積重量が1.9kg/ℓ以下のときは、空気連行量が多いので強度を十分発現しない場合がありますので、注意してください。



塗布使用の場合

モルタルを塗る前に下地(コンクリートなど)に
ニューSKタックを塗りつける方法

特長

- 水で容易に希釈でき、すぐ均一になります。
- 接着力が強力で、耐水・耐アルカリ性に優れています。
- 塗布面に多少の水分があっても、乾燥していても使えます。
- モルタル塗りが、塗布直後の追っかけ塗りでも、造膜後でも可能です。
- 壁モルタルばかりでなく、床モルタルの接着にも有効です。
- モルタルの塗りつぎが容易です。

用途

- 下地との接着強度のアップに使用。(コンクリート壁面・床面、軽量コンクリート壁面・床面などに)

施工方法

1. 下地の処理

- レイタンス、風化した下地、弱い下地はハツリ取除いてください。
- 塵埃は水洗、油類の汚れはシンナーか中性洗剤で清掃してください。
- 床面は特に塵埃の付着、レイタンスが多いので念入りに清掃してください。

2. ニューSKタックの塗布

- ニューSKタックを施工箇所に応じ(〈表1〉参照)水でうすめ、刷毛またはスプレーで、下地表面に均一に塗布してください。

3. モルタルの塗り付け

- モルタル塗りはニューSKタック塗布1週間後でも可能ですが、長時間放置による塵埃等の付着が接着力の低下を招くので、塗布後追っかけ塗りをするなど、なるべく早く行ってください。
- モルタルの調合、塗り厚はJASS15を基準とするのが最適です。

■希釈倍率と塗布量〈表1〉

施工箇所	希釈液の塗布量	ニューSKタック3倍液	
		希釈倍率 商品:水	施工面積(1缶あたり)
コンクリート壁面	0.12~0.18kg/㎡	1:2	360㎡ 18kg缶 80㎡
軽量コンクリート壁面	0.15~0.20kg/㎡	1:2	270㎡ 4kg缶 60㎡
コンクリート床面	0.2 ~0.25kg/㎡	1:3	360㎡ 80㎡
軽量気泡コンクリート 壁・床面(ALC)	0.4 ~0.45kg/㎡	1:3	150㎡ (2回塗り) 33㎡ (2回塗り)

4. 留意点

- ニューSKタック塗布後、半乾燥状態になれば皮膜面に刷毛などで触れないでください。
- 塗布面をホコリ、ゴミなどで汚さないようにしてください。
- 夏期塗りつけたモルタルに強い直射日光が当たる場合は、日よけをするか、ニューSKタックの3倍希釈液をモルタル表面に散布して、水分の急激な乾きをおさえてください。

ニューSKタック混入モルタルの性能について

1.ニューSKタックの添加によるセメントモルタルの改質

①未硬化状態での特性

- ・流動性が改良されるため、一定の作業性、粘性を得るのに必要な水量が減少します。
- ・保水性が向上し、セメントの硬化不良を防止します。
- ・空気連行性があり、コテ塗り作業性が向上します。
- ・耐ブリージング性に優れています。

②セメントモルタルの性能

- ・強度の発現性に優れ、接着強さ、引張り強さ、曲げ強さが向上します。
- ・透水性、吸水性が改良されるため、防水性能および耐凍結融解性が向上します。
- ・乾燥収縮性〔体積収縮〕が減少します。
- ・柔軟なポリマーの影響で変形追従性が高くなり、ヒズミに対する抵抗力が増加します。
- ・耐摩耗性、耐衝撃性が向上します。
- ・一般には耐酸、耐アルカリ性などの耐薬品性が向上します。

2.曲げ圧縮強さ

ニューSKタック混入モルタルはセメント、砂など、硬化体を構成する組成物と下地〔コンクリートなど〕など接着界面状態が改善されるため、接着性能および曲げ強さ、引張り強さが向上します。

しかし、エマルジョン樹脂中に含まれる界面活性剤や水溶性ポリマーの影響で空気連行性が増すことや柔軟なポリマーが存在するために圧縮強さの向上は認められませんでした。

3.乾燥収縮量

セメントと反応しない余剰水〔キャピラリー水〕は時間とともに乾燥し、それとともにセメントモルタルは収縮します。

この収縮現象は割れや浮きの問題を発生させることがあり、左官工事の悩みの種でした。

W/Cの低いものが乾燥収縮量が小さい結果が出ており、ニューSKタックの混入ではこの効果が大きくなります。

4.ヒズミ量

ニューSKタック混入モルタルはセメント、エマルジョンが互いに欠点を補い構成されている複合体であり、ヒズミ量の増加が認められています。

このことは外部変形に対して一段と高い追従性を発揮することを意味しています。

これはニューSKタック混入モルタルに存在するフレキシブルなポリマーの影響であり、混入エマルジョンの量とともに向上します。

⚠️ ご注意

施工上の注意

- 空気に触れると被膜硬化を生じますから、容器は使用後必ず密閉してください。
- 凍結安定性 -10℃ 5サイクル試験に合格していますが、屋内に保管してください。
- 冬期の施工において、気温が3℃以下の時は凍害を受けないよう十分注意してください。
- 道具類は使用後すぐ水で洗い落としてください。
- 直射日光の当たる所での野積などは避けてください。

取扱上の注意

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、ただちに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、ただちに医師の診断を受けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 塗装〔作業〕中、乾燥中とともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 塗装〔作業〕後は、手洗い・うがいを十分におこなってください。
- 容器からこぼれた場合には、砂などを散布し、回収したのち、水洗いしてください。
- 容器は密封し、直射日光を避け、換気のよい冷暗所に保管してください。また冬期には凍結しないように注意してください。
- 空容器の処理は、産業廃棄物業者に依頼してください。残さ・残液〔ボンドなど〕は下水・河川・池・井戸・地下水などを汚染する恐れのある場所には廃棄しないでください。

四国化成工業株式会社

お客様の商品へのお問い合わせは

お客様相談室 ☎0120(212)459 (携帯、PHSからご利用になれません)
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始・夏期休暇を除く)
インターネットからは <http://kenzai.shikoku.co.jp/customer>
資料請求、お見積りについては、最寄りの営業所にお問い合わせください。

営業課

総社店：TEL 022(374)4110 遠江店：TEL 06(6339)4111 九州：TEL 092(431)4111
首都圏：TEL 03(3451)4110 中国：TEL 086(245)3811
中部：TEL 052(705)0111 四国：TEL 0877(49)5311

建材事業サイト <http://kenzai.shikoku.co.jp>

⚠️ 安全に関するご注意

商品に記載している「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- 記載内容は、2007年8月1日現在のものです。
- 改良のため、予告なしに商品の仕様の一部を変更する場合がございます。
- 天然の原料を使用していますので、ロットにより多少色調が異なる場合があります。
- アスベスト(石綿)は一切使用しておりません。
- 施工の際は、お近くの販売店・工務店にご依頼ください。

0708-SCCOPO